

会長エレクト研修（PETS）報告

日出ロータリークラブ会長エレクト 加賀山 茂

『国際ロータリー第 2720 地区 2020～2021 年度 会長エレクト研修 オンラインセミナーテキスト』、および、DVD の聞き取りによる情報に即して、会長エレクト研修（PETS）の報告を以下のプレゼンテーションファイルに基づいて行いました。

- PowerPoint… <http://cyberlawschool.jp/kagayama/PETS2020-2021Report.pptx>
- PDF…………… <http://cyberlawschool.jp/kagayama/PETS2020-2021Report.pdf>

次年度の RI 会長のテーマについて

第 1 に、オンラインセミナーの上記のテキスト、および、私が提出した評価書に基づいて PETS の概要を説明しました。



第 2 に、次期国際ロータリークラブのホルガー・クナーク（Holger Knaack）会長の次年度のテーマ“**Rotary Opens Opportunities（ロータリーは機会の扉を開く）**”のロゴの三色の色（左から、クランベリーレッド、ゴールド、ロイヤルブルー）が何を意味するかについて、国際ロータリー第 2720 地区の次期ガバナー硯川 昭一氏の見解を中心に以下の順序で議論を深めました。

日出ロータリークラブの会員の意見

ガバナーの見解を紹介する前に、会員一人ひとりの考えを伺ったところ、以下のような興味深い見解が次々に披露されました。

- (1) 交通信号の赤・黄・青のように、危機管理、注意すべきこと、安全性を暗示しているのではないか。
- (2) 生命を維持している、動脈（赤）、リンパ（黄）、静脈（青）を示すことによって、新型コロナウイルスに負けない態勢を構築すべきことを訴えているのではないか。
- (3) 三世代（幼年、中年、高年）を暗示して、それぞれがお互いに刺激し合うことを求めているのではないか。
- (4) ロータリークラブの過去・現在・未来を暗示しているのではないか。…

第 2720 地区ガバナーエレクトの見解

以上の見解等について議論した後に、「ロータリーは無限の可能性：情熱で夢を未来に届けよう」をスローガンに掲げる、私たち第 2720 地区のガバナーエレクト硯川 昭一氏の PETS での以下のような見解を紹介しました（上記・オンラインセミナーテキスト 18 頁）。

このクナーク会長テーマのシンボルマークのロゴの色に注目してみましょう。気づかれましたか？

真ん中の色はまさにロータリーゴールドであり、右側はロイヤルブルー〔ロイヤルブルーは、インターアクト（12 歳～18 歳）のシンボルカラー〕、そして左側は克蘭ベリーレッドという組み合わせになっています。この克蘭ベリーレッドはローターアクト（18 歳～30 歳）のロゴマークのカラーなのです。

ホルガー・クナーク会長エレクトはこの扉に、「ローターアクトの若者への扉も用意しである」はもちろん、様々な奉仕活動を求める地域社会のすべての人々へのメッセージを伝えようとしたに違いありません。

（カラーの意図についての正式な発表はありません）。

日出ロータリークラブ会長エレクトの考え方

ガバナーエレクトの見解について議論をしたのちに、以下のような私の見解を述べて、議論を盛り上げました。

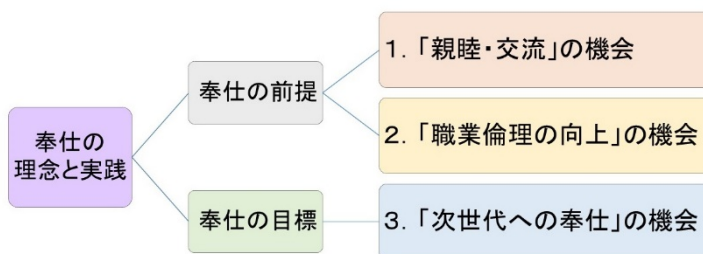
(1) 三つの扉でロータリークラブにインターアクトクラブ、ローターアクトクラブの人々が集まってきたとしましょう。三密（①密閉，②密集，③密接）にならないように扉が開かれているのはいいのですが、そこで何をするのが問題です。

(2) 私は、わが国のロータリークラブの場合、そこでは、「上和らぎ，下睦びて，事を論じるに諧うときは，事理自ずから通ず。何事か成らざらん。」という十七条の憲法第 1 条の精神に則って，①和気あいあいとし

た親睦の場で，真剣な議論を行い，②職業倫理を向上させ，③次世代への奉仕活動を練り上げるという三つの仕事を行って，3 つの扉から奉仕活動の実践のために社会に出て行

き，職業倫理で培った能力を持って，次世代のための奉仕活動を行うというのが今年度の国際ロータリークラブ会長のテーマの一つの解釈ではないかと考えています。

(3) その上で，日出ロータリークラブ次期会長のテーマとして「和らぎ睦びて事を論じ，次

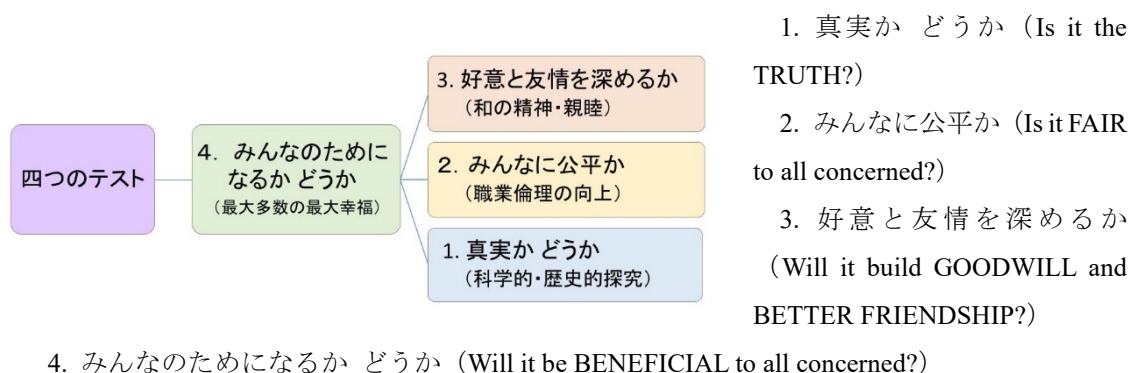


世代への奉仕活動を実践しよう」を掲げることを宣言しました。

三つの「機会の扉」と四つの「ジョハリの窓」と「四つのテスト」の関係

最後に、「機会の扉」との関係で、「ジョハリの窓」を紹介して、ジョハリの4つの窓も、大切なのは3つの窓（盲点の窓、秘密の窓、未知の窓）であることを論じたのですが、その時に、ロータリークラブの中心テーマとして唱和されている「四つのテスト」も、実は、三つにまとめることができるのではないかという発想を得ることができました。

四つのテスト（言行はこれに照らしてから）の新しい解釈



この問題については、次年度の会長の時間を使って、議論を深めていきたいと考えています。